

大会名 Competition	第37回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-112	Year Month Day Time 2024 年 5 月 5 日 10 : 45
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
藤枝明誠	<table border="1"> <tr><td>10 1st 26</td></tr> <tr><td>18 2nd 23</td></tr> <tr><td>14 3rd 17</td></tr> <tr><td>16 4th 17</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	10 1st 26	18 2nd 23	14 3rd 17	16 4th 17	0 T	開志国際
10 1st 26							
18 2nd 23							
14 3rd 17							
16 4th 17							
0 T							
58 ●		83 ○					

主審:Crew chief
阿部 ちひろ 岩手
副審:Umpire
工藤 美香 秋田
遠田 亘 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽高校 男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
12	×	永田 貴陸		0	0	0	0	2	4	×	清水 脩真	cap	15	1	6	0	0
13	/	渡邊 聖		9	2	1	1	0	5	×	平良 宗龍		27	3	8	2	3
16		渡辺 倫久		-	-	-	-	0	6	×	千保 銀河		8	2	1	0	3
19	×	野津 洸創		3	0	1	1	0	7		矢作 悠吏		-	-	-	-	0
21		高平 爽太		-	-	-	-	0	8	/	高野 拓泉		2	0	1	0	3
31	/	金子 來樹		2	0	1	0	1	9		前田 あり有聖		-	-	-	-	0
32	×	野田 凌吾		14	1	5	1	0	10		池田 楓真		-	-	-	-	0
35		柴田 陽		-	-	-	-	0	11	/	小泉 俊介		0	0	0	0	0
37		董 博仁		-	-	-	-	0	12	/	中塚 遼人		0	0	0	0	1
39	×	篠原 遼太		2	0	1	0	0	13	×	高橋 歩路		9	2	1	1	1
44	/	アマー エマニュエル		0	0	0	0	0	14	×	社フィ ケビン シェミリー		18	0	9	0	2
47	/	高松 悠季		1	0	0	1	1	15	/	サニ アルセグン ファルク		4	0	2	0	0
55		小森 蒼斗		-	-	-	-	0	16	/	平良 奏龍		0	0	0	0	1
77	/	徳田 翔太		1	0	0	1	0	17		北本 慶志		-	-	-	-	0
99	×	ホヌ ロードプリンス	cap	26	1	10	3	3	18		磯部 大悟		-	-	-	-	0
コーチ		金本 鷹						0	コーチ		富樫 英樹						0
アコーチ		日下部 二郎						0	アコーチ		津野 祐樹						0
合計				58	4	19	8	7	合計				83	8	28	3	14

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	26	44.83%	ホヌ ロードプリンス
2	14	24.14%	野田 凌吾
3	9	15.52%	渡邊 聖

1	27	32.53%	平良 宗龍
2	18	21.69%	社フィ ケビン シェミリー
3	15	18.07%	清水 脩真

Score ranking[Game]

1	27	平良 宗龍	開志国際	2	26	ホヌ ロードプリンス	藤枝明誠	3	18	社フィ ケビン シェミリー	開志国際
---	----	-------	------	---	----	------------	------	---	----	---------------	------

ここまで全勝の藤枝明誠と1敗で追いかける開志国際の直接対決。

1Q、開志国際が#6千保のドライブで先制。両チームともタイトなディフェンスを続ける中、開志国際は#5平良、#13高橋の3Pや#14シェミリーの内外からの得点で4-14とリードする。攻め倦む藤枝明誠はタイムアウトから#99ロードプリンスをローポストに据えて攻めを組み立てるが、開志国際の激しいディフェンスに阻まれ、逆にカウンター速攻を許してしまう。10-26にリードを広げられ1Q終了。

2Q、開志国際は#4清水、#5平良、#14シェミリーが良く動きミドルや3Pで加点していく。藤枝明誠は#99ロードプリンスが苦しみながらもインサイドで攻撃。両チームファウルが増えてストレスがたまる中、藤枝明誠#32野田、#19野津が加点するも、開志国際#13高橋の3Pなどで28-49とリードが広がる。

3Q、藤枝明誠は5人の動きから空間を作り、#39篠原のロングシュート、#32野田のドライブなどでじわじわ追い上げる。しかし残り時間5分から開志国際もペースを上げ、激しいリバウンドから#4清水、#5平良が走り回り加点。42-66。

4Q、追い上げたい藤枝明誠はディフェンスをより激しくするが、開志国際もルーズボールに良く飛び込み譲らない。藤枝明誠は#13渡邊の3Pやインサイドで追いつくも差は縮まらず、残り3分で54-79。お互いメンバーチェンジの後はいれ合いとなり、58-83で開志国際が勝利。開志国際が優勝に王手をかけた。